

「ふるさとを愛し 夢を育む 賢く優しくたくましい子」

- ・(ひ) 人の話をしっかり「きく」ことのできる子
- ・(や) やさしく 思いやりのある子
- ・(く) くじけず 最後までがんばる子
- ・(た) たくましく 健康な子



<http://www.hyakuta.m-alps.ed.jp/>

運動会特別日課開始

15日(火)、運動会特別日課が開始されました。これまでも練習は進められてきましたが、いよいよ意識も高まってくると思います。明後日から四連休、子供たちの健康管理をお願いいたします。



児童会本部からテーマの発表と練習の約束の確認。



各色組リーダー・副リーダーの話



応援練習
声は出せないけれど、
心は一つに



奥田愛里子先生、出産休暇に

養護教諭の奥田愛里子先生が、週明け23日より出産休暇に入ります。けがをしたり体調を崩したり、不安を抱えたりしたときにお世話になった人もいますかと思いますが、また今年度は、コロナ対策の中心となって活躍してくれていました。元気な赤ちゃんを産んで、披露してもらいたいです。



9月23日からは、高埜波津美先生が来てくれることになりました。



高埜先生は、平成30年度まで本校に勤務されていて、学校のことや児童の様子などについてよくご存じですので、安心してお任せすることができます。よろしくお願いいたします。



「100-1=0 (?)」

「100-1」といえば、小学校低学年生でも99と答えます。では「100-1=0」とは、どんなことを言いたいのでしょうか。

実は、この言葉は帝国ホテル第2代総料理長（現 特別料理顧問）田中健一郎さんのものです。本物の料理人である田中さんは、「料理とは、手を抜かぬ心によってこしらえるもの」と言っています。この計算式は、たった一つの妥協やごまかしで料理すべてが台無しになってしまうということなのです。

でもこれは、けっして料理の世界のことだけではないでしょう。どんな仕事においても、どんな活動においても、一つのほころびが全体を壊してしまうといったことはよくあることです。もちろん、学校現場においても同様です。

いま子供たちは運動会に向けて精一杯頑張っています。もちろん運動会では勝敗が付きます。また当日失敗があるかもしれません。しかし結果は結果、競争においても演技においても、児童全員の頑張りが見ている人の心を打つことと思います。ぜひ、そんな気持ちで子供たちを応援してあげてください。

ところで田中さんは、このほかにも「料理は人なり」といい、毎日16の厨房をまわり、約400人の部下全員に声をかけるそうです。直接話をするすることで、一人一人の内面を読み取り、悩みや迷いを消し、最高の状態でいられることに心をさいていると言います。まさに『チーム帝国ホテル』。さらに「背中で伝える」ということで、時間が許す限り下ごしらえを買って出るそうです。その背中から伝わるのは「本当の仕事は地味なもの」ということ。そして最後に、「決め味は、情熱」。〔NHK プロフェッショナルより〕

百田小は児童に恵まれ、保護者に恵まれ、地域に恵まれ、そして職員に恵まれ、落ち着いた教育活動を進めることのできる素晴らしい学校です。今後さらに高い次元を目指し、妥協やごまかしなく頑張っていく所存です。そのためには、マネジメントの中心である校長自身の向上が必要になってきますね。「100-1=0」を心にとめ、「チーム百田」「背中で伝える」「情熱」を忘れず、職員ともども日々研鑽に努めます。田中さんに一歩でも近づけるように・・・。

もう一つの1

い ち	谷川俊太郎
いちってね つまりぼくがね いちなのさ	ぼくは せかいで ひとりきり
いちってね つまりママがね いちなのさ	ママは せかいで ひとりきり
いちってね つまりきみもね いちなのさ	ぼくと きみとで 2になるよ
いちってね だけどちきゅうは ひとつなの	ぼくと きみとで てをつなぐ
いちってね だからはじめの かずなのさ	ちいさいようで おおきいな

計算の世界では、1は一番小さい数です。でも、この詩のぼくのように、自分やママや友達存在を「大きな1」として大切にしたいですね。自分の存在とともに相手の存在を大切にできる、そんな生き方を子供たちには目指してもらいたいものです。まずは家族の、隣の席の、クラスの、学校の・・・1を大切にすることから。